

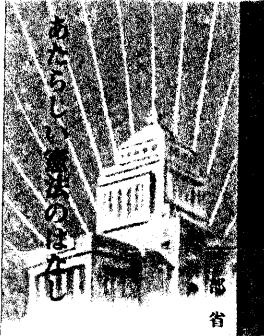
議会を変えよう！ 市政を変えよう！

## ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース05年5月号  
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL047-445-9144 (FAX兼用)  
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com



### “憲法”って、私達にとって何なのでしょう？



戦後60年の今年、“憲法”について多くが語られております。「古い」、「知る権利や環境権が入っていない」、「国際貢献にとっては桎梏だ」、「伝統、歴史への尊重が足りない」などと。

戦争の反省にたつて“平和主義”、“国民主権”、“基本的人権”を掲げ輝かしく登場した日本国憲法は、私達市民にとって何なのか、考えてみる必要があるでしょう。

文部省は中学校の教科書として「あたらしく変わるのよ」を創り、学校で教えました（'47～'52）。「国の力のもと、ひとりひとりの国民にあります」、「兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたない」、「よその国と争いごとがおこったとき、けつして戦争によって相手をまかせて、じぶんのいいぶんをおそうとしない」と。

しかるに、戦後、憲法とは違った既成事実がつかさねられ、今、“自衛隊”が武器をもって戦場イラクへ派遣されています。

「現実はこちらまで来た。だから9条は合わない。改正しよう」という人々がいます。はたしてそうでしょうか？

9条を改正し合法的に自衛軍が国際貢献として戦場イラクへいくことは、“人を殺す”ことで国家の意思を貫きとおそうとする社会・国家に変わることなのです。国のあり様が180度変わってしまうのです。

私達は、そんな社会のあり様を“よし”として選択したいのでしょうか。世界はテロの応酬の様相を呈しています。それゆえ憲法9条が“いまこそ旬”なのです。21世紀の新しい人々の生き方として改めて“殺すな”の理念と方法を実現していきましょう。

ふじしろ政夫



### 誰もがありのままにその人らしく

#### — 生活の丘・梨の木工房（丸山1丁目） —

小規模作業所“生活の丘（梨の木工房）”を訪れました。（05 4/8）  
障がいをもった人々が丁度紙バッグ造りをしているところでした。  
フロア一っばいに10数名がいっしょうけんめいに、そして明るく作業をしていました。

井田さんに作業所のことを尋ねました。

単価は安く、収入と家賃（支出）を考えると大変ですが「障がいのある人にとって地域の中で、一人一人の人間の尊厳が尊重されるような就労の場が必要なのです。」と熱く語る“ことば”にひきこまれました。

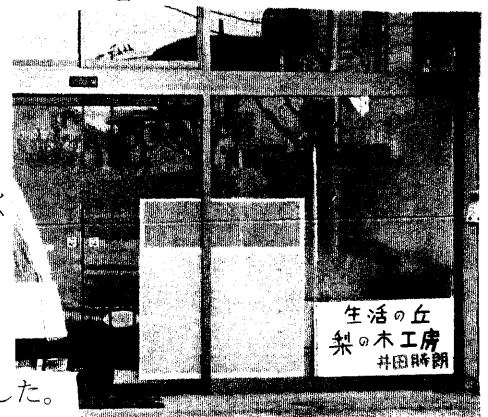
「大きな施設よりも、小さな施設、さらに、より地域の中へ」

『働く』ことの第一義は生産性ではない。重度の障がい者（児）も仕事ができると言えるように、『働く』ことの意味を考えなおさなくてはならない

「当事者の明るさと、将来にわたる働く場が必要なのです。」とおだやかな言葉の中にも、障がい者（児）のおかれている現状への鋭い問題提起がなされました。

「障がい者（児）の“行き先”を確保する作業所からさらに『福祉工場』をつくらせていきたい」と語る井田さんの思いと、作業所の障がい者の明るい声と笑顔からは、地域福祉実現へどのように自治体がとりにくんでいくのかという姿勢と観点への多くの示唆をいただいた思いです。

“誰もがありのままに、その人らしく地域でくらしていける”社会をつくらせていきましょう。





## 5月3日憲法記念日

### 今、国のあり様を考える

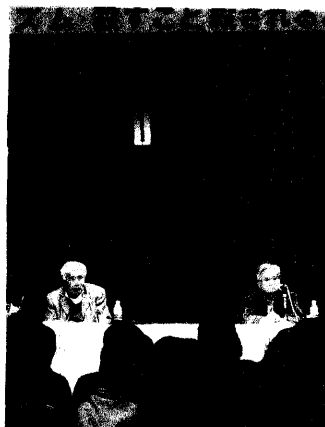
#### テロリズム 殺すこと殺されること —思想の科学研究会・講演会—

小田実、鶴見俊輔 両氏(九条の会)の講演とシンポジウム。約300人程の高齢な方々の集まりでした(九条の会の9人の平均年齢は77歳だそうです)。

会場は“いまこそ旬”の憲法9条の理念と実践で新たな社会をつかっていこうとする熱い「青春」の思いがあふれておりました。

「対象が明確であったテロから大規模な無差別殺人へと変わってきたテロリズムの定義を、又国家の定義を変えていく必要がある。」「常に殺される側にいる市民の立場から解決の糸口をさぐるべき。」(小田)と現状への把握が語られ、

「市民が動き出す芽はある。あたらしい動きをつくっていきましょう」「『各自、自分の尻の上にすわれ』そのうえで九条の会と結びつくことが可能か否かを。」(鶴見)と9条の理念を現実のなかで実現していく市民一人一人の動きの一步が期待されました。



#### 高遠菜穂子さん語る

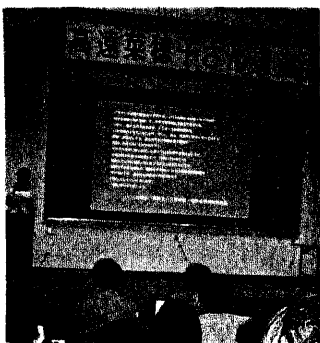
##### ーイラクに近づこう、世界につながろうー

10代から30代の若者が始めたネットワーク「ブーメランネットワーク」の集まり(約400名参加)で、イラクの現状の報告がありました。

'04年フールージャでの闘いで多くの市民が殺されたとの事。遺体の引き取りさえままならずすでに腐敗し、ウジがわいている死体を確認していくイラク市民の映像は・・・

戦争の現実とはまさに“殺す殺される=死”なのだとして強く伝えました。高遠さんは「この死んでいく人々の側から見ていきたい」「子供たちの共同の家をつかっていきたい」とイラクの子供たちへの希望を静かに語りました。

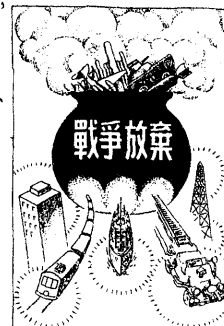
綿井健陽さん(「リトルバズ」の映画監督)からは、「自衛隊を送り出すことで危険を増大させている」「イラク戦争とは何であったのか?その問い返しなしに将来像は



語れない」「今、自分がいる場所から声をあげていくことが一番大切」と語られました。  
20代の若い人々も動き出しています。

#### 『九条の会・千葉地方議員ネット』 結成される

昨年、大江健三郎氏、三木睦子氏など9人の識者が出した「九条の会」アピールに賛同した千葉県の地方議員のネットワークが結成されました(05/4/17)。「日本国憲法が実現しようとしてきた武力によらない紛争解決を目指す国のあり方を根本的に転換し、軍事優先の国家へ向かう」憲法9条「改正」の動きにストップをかけ、今こそ旬の憲法9条を世界に輝かせたいと県下25議会の地方議員116名が超党派で参加しました。議員として、そして市民との関係をもって“9条を守る”一点で手をむすび活動していきます。鎌ヶ谷市からは、ふじしろ、津久井、宮城の各議員が参加しました。今後多くの議員が参加してくると思われています。



#### ご案内

《戦後60年平和イベント》

池田香代子さん講演会

三橋記念館ホール

7/2 13:30～

高遠菜穂子さんイラクを語る



8/8 19:00～ 三橋記念館ホール

《映画》「リトルバズーイラク戦火の家族たち」

綿井健陽第一回監督作品

4/23(土)より 新宿 K's シネマにて

¥1,800 TEL03-3352-2471

#### ト...え...い...案...内

☆法律無料弁護士相談 (要予約)

5/21(土) 13:00～

☆子供教育・心理相談 (要予約)

5/28(土) 13:00～

☆碁楽会 13:00～17:00

5/6(金) 5/20(金)

☆ふじしろ政夫・市政相談

5/11(水) 10:00～

